

平成27年度当初予算案概要

資料 4

仙 台 市

- 被災者の方々の暮らしの再建を加速させ、震災の教訓を後世に引き継ぐ「未来へつなぐ復興まちづくり」と、多くの方々から住みよいまちとして選ばれるための「新生・仙台へ向けての魅力づくり」の取組に予算を重点配分
- 将来的な税源涵養につながる地域経済の活性化や、経費の平準化のための公共施設の長寿命化など、中長期的な視点で財政健全化を図る施策も重視

■全体予算規模

復興事業の進展に伴い24年度予算から引き続き**1兆円を超える高水準の予算規模が継続**

| | 平成26年度 | 平成27年度 | 増減額 | 増減率 |
|------|-----------|-----------|--------|--------|
| 一般会計 | 5,581億円 | 5,389億円 | △192億円 | 96.6% |
| 特別会計 | 3,129億円 | 3,388億円 | +259億円 | 108.3% |
| 企業会計 | 2,864億円 | 2,754億円 | △110億円 | 96.2% |
| 合計 | 1兆1,574億円 | 1兆1,531億円 | △43億円 | 99.6% |

※ 一般会計における復旧・復興事業費は718億円。

■主な重点政策

◎ 「未来へつなぐ復興まちづくり」

東部復興道路整備 42.0億円、津波避難施設整備 21.5億円、津波被災地域防災集団移転促進 103.4億円、復興公営住宅建設 212.9億円、生活復興プロジェクト 7.7億円（復興公営住宅等入居支援金、被災者健康支援など）、海岸公園再整備 44.4億円、震災復興メモリアル事業 1.0億円、音楽ホール整備検討調査 0.2億円など

◎ 「新生・仙台へ向けての魅力づくり」

○ 都市個性を生かした活力づくり

防災環境都市推進 33.1億円（世界の防災文化発展への取組み、防災対応型太陽光発電システム整備、次世代エネルギー創出促進など）、障害者グループホーム整備促進補助 0.3億円、地域包括支援センター運営 9.6億円、新しい市民協働の仕組みづくり 0.3億円など

○ 若い世代の方々にとっての魅力づくり

子ども・子育て支援新制度推進 262.9億円（認可保育所整備等、共同型事業所内保育事業設置促進、放課後児童健全育成事業、病児・病後児保育など）、学習サポート事業 0.6億円、学校給食センター対象校アレルギー対応拡充 0.2億円、スポーツコミッション運営等 0.1億円、八木山動物公園魅力アップ 8.5億円など

○ 東北の中核としての元気づくり

仙台経済成長デザイン 158.3億円（東北復興交流パーク、国家戦略特区の指定に向けた取組み、ストック活用型都市再生推進など）、中小企業活性化基金設置 30.0億円、コンベンション誘致 0.7億円、地下鉄東西線建設 156.7億円、東西線フル活用プラン推進 4.5億円（WEプロジェクトの推進、商店街にぎわい創出・基盤整備支援事業など）など

◎ 戦略的な都市経営

市民協働による地域づくりの推進 1.7億円、政策推進検討調査等 0.3億円、公共施設の長寿命化の推進 59.7億円など

■平成 27 年度予算編成の状況

1 予算編成方針の骨子

平成 27 年度予算編成においては、被災者の生活再建を始めとする復興事業の実現に向けて全力を尽くすとともに、仙台が都市の活力・活気に溢れ、質の高い生活環境を誇る魅力のあるまちとして、未来に向けてしっかりと歩みを進めていくために「震災からの再生・復興の実現と、仙台の未来を確かにする取組の前進」に重点的な予算配分を図る。あわせて、税源涵養の取組み、施設の長寿命化など資産の有効活用を図る取組みを推し進めるなど、長期的なまちづくりの視点に立った財政基盤の確立に努める。

2 予算見積・調整の状況

(1) 予算見積 (10～11 月)

(2) 予算調製 (11～12 月)

(3) 予算内示 (12 月)

(4) 復活要求や以下の要素による追加・修正 (1 月)

- ・ 国の補正予算と新年度予算を踏まえた予算見積の追加・修正や年次調整

(5) 平成 26 年度補正予算編成と合わせた最終調整 (1 月)

<一般会計予算における予算見積・最終調整の状況>

| | 歳入 | 歳出 | 差引 (収支差) |
|---------------------------|----------|----------|----------|
| (1) 予算見積集計 | 4,948 億円 | 5,373 億円 | △425 億円 |
| (2)～(5) 予算編成過程における精査・調整等※ | +206 億円 | +16 億円 | +190 億円 |
| 最終調整後(財源対策前) | 5,154 億円 | 5,389 億円 | △235 億円 |

※精査、調整等の概要

- ・ 財源の精査及び基金等の活用による歳入の確保
- ・ 事業工程の精査による平成 27 年度予算への付替え(歳入+135 億円, 歳出+138 億円), 国補正予算を活用した平成 26 年度予算への前倒し計上(歳入△6 億円, 歳出△7 億円), 経常経費の精査, 事業の年次調整等による歳出の調整
- ・ 国の新年度予算を踏まえた臨時給付金の追加(歳入, 歳出それぞれ+20 億円)

3 財源対策の状況 ※一般会計における最終調整後の収支差 235 億円への対応状況

| | 収支差対応(歳入) |
|---------------|-----------|
| 財政調整基金繰入 | +177 億円 |
| 市債管理基金繰入 | +24 億円 |
| 行政改革推進債・退職手当債 | +24 億円 |
| 特定目的基金充当範囲拡大 | +10 億円 |
| | +235 億円 |

- ・ 平成 27 年度予算の編成までには特例的な収支差対策をゼロにするという、行財政改革プラン 2010 に掲げた目標(「収支均衡した予算」)を実現。

4 一般会計当初予算額

| | 歳入 | 歳出 |
|------------------|----------|----------|
| 2 最終調整後 + 3 財源対策 | 5,389 億円 | 5,389 億円 |